

感染症発生状況

令和5年8月30日

各保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和5年8月21日（月）～8月25日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,690名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】447名 【職員】40名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】89名

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状別：熱（196名）、咳・鼻水（97名）、下痢・腹痛（57名）、嘔気・嘔吐（7名）

疾病別：新型コロナウイルス感染症（49名）、胃腸炎（20名）、ヘルパンギーナ（15名）、
気管支炎・肺炎（3名）

【職員】症状別：咳・鼻水（5名）、熱（1名）、嘔気・嘔吐（1名）

疾患別：新型コロナウイルス感染症（34名）

ようやく、ヘルパンギーナを含めた夏風邪は減少してきました。

しかし、新型コロナ感染は増加拡大し続けています。

昨年8月、9月の流行を呈しています。

園内感染、家族感染にご注意ください。

【症状別の発生状況】

新型コロナウイルス感染症 玉山地区、厨川地区、河北地区、河南地区で増加しました。

胃腸炎 玉山地区、厨川地区、盛南地区で増加しました。

河北地区で減少しました。

ヘルパンギーナ 河北地区、盛南地区で増加しました。厨川地区で減少しました。

気管支炎・肺炎 玉山地区で減少しました。

【県の状況（8/14～8/20）】

新型コロナウイルス感染症は増加し、定点あたり患者数は30.42人となり、前週と比べ2倍近く急増しました。特に奥州地区では60.00人と高い数値でした。盛岡市、県央、中部、一関、宮古及び久慈地区でクラスターの発生が計14件あり、その内訳は高齢者施設8件、医療施設5件、教育保育施設1件でした。昨年同時期にも患者数の増加が見られ、その影響は9月末頃まで続いたことから注意が必要です。引き続き、手洗い・咳エチケット等基本的な感染予防対策の確認を行いましょう。県は有症者の相談や受診先を紹介する「いわて健康フォローアップセンター」や高齢者等宿泊療養施設の運用を継続して行っています。

ヘルパンギーナは減少し、警報値の6人を下回りましたが、県内全域で発生報告があるため引き続き注意してください。本症は発熱とのどの痛み、口内に現れる水疱性発疹を主症状とし、乳幼児を中心に夏季に流行するウイルス性の疾患です。まれに無菌性髄膜炎や急性心筋炎などを合併することがあるので注意が必要です。予防には患者との濃厚接触を避け、手洗いやうがいを励行することが重要です。

RSウイルス感染症は減少しましたが、県内の多くの地域で発生報告がありました。本症は、乳幼児に多く認められる急性呼吸器感染症です。症状は風邪様から肺炎まで様々ですが、初感染の乳幼児や高齢者では重症化する場合がありますので注意が必要です。予防には咳エチケットや手洗いのほか、ドアノブや玩具の消毒も効果的です。

◆岩手県新型コロナウイルス感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/covid19/index.html>

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話613-8347（ダイヤルイン）ファックス652-3424】